

日本脳腫瘍学会理事長挨拶

8:30-8:35

永根 基雄（日本脳腫瘍学会 理事長／杏林大学 医学部 脳神経外科）

会長挨拶

8:35-8:50

脳腫瘍支持療法研究会の発足について

成田 善孝（第1回脳腫瘍支持療法研究会 会長／
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）

研究会発足特別企画

8:50-9:35

「患者・介護者へのアンケート調査報告」

座長：永根 基雄（杏林大学 医学部 脳神経外科）
百田 武司（日本赤十字広島看護大学 看護学部）

発表者：成田 善孝

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

野村 恵子

JBTA（特定非営利活動法人脳腫瘍ネットワーク）

池田 真理

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野

シンポジウム1

9:35-10:25

「ニーズとサポート」

座長：荒川 芳輝（京都大学大学院 医学研究科 脳神経外科学）
寺島 慶太（国立成育医療研究センター 小児がんセンター 脳神経腫瘍科）**SI-1** 高悪性度グリオーマ患者の介護者に対する支持療法：
ニーズに関するスコーピング・レビュー中洲 庸子^{1), 2)}、柳場 美穂³⁾、三矢 幸一¹⁾、中洲 敏⁴⁾¹⁾ 静岡がんセンター 脳神経外科、²⁾ 滋賀医科大学 脳神経外科、³⁾ 静岡がんセンター 緩和医療科、⁴⁾ 淡海医療センター 脳神経外科

SI-2 グリオーマ患者とその家族のための小冊子作成

櫻井 卓郎¹⁾、成田 善孝¹⁾、梅崎 成子²⁾、阿瀬 寛幸³⁾、村川雄一朗⁴⁾、
草場 正彦⁵⁾、佐藤 仁美⁶⁾、堀川真由弥⁷⁾、角田 明子⁸⁾

- ¹⁾ 国立がん研究センター中央病院、²⁾ 東京大学医学部附属病院、
³⁾ 順天堂大学医学部附属順天堂医院、⁴⁾ 京都大学大学院、⁵⁾ 関西電力病院、
⁶⁾ 帝京平成大学、⁷⁾ 国立国際医療研究センター、⁸⁾ 東京女子医科大学

SI-3 脳腫瘍患者に対する多職種連携による総合的サポート体制の構築

齋藤 紀彦、平井 希、小屋原 優、佐藤 詳、平元 侑、藤田 聡、
中山 晴雄、林 盛人、櫻井 貴敏、岩渕 聡
東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

SI-4 脳腫瘍術後患者が希望する活動の特徴

伊藤 駿¹⁾、佐賀里 昭²⁾、古橋 啓介¹⁾、平野 滉¹⁾、大澤 竜司³⁾、
大野 智貴¹⁾、井戸 芳和¹⁾、堀内 博志¹⁾

- ¹⁾ 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、
²⁾ 信州大学 医学部 保健学科作業療法学専攻、³⁾ 神應透析クリニック

SI-5 脳腫瘍患者・家族のニーズを引き出すための病棟における取り組み

西山 淳¹⁾、親川 さや²⁾、榊原夢太郎¹⁾、反町 隆俊¹⁾

- ¹⁾ 東海大学 医学部 外科学系 脳神経外科学領域、
²⁾ 東海大学医学部附属病院 看護部

シンポジウム2

10:25-10:55

「QOL・サイコオンコロジー」

座長：内富 庸介（国立がん研究センター中央病院 支持療法開発センター）
田中 将太（東京大学 医学部 脳神経外科）

S2-1 術後につらさが増悪した神経膠腫患者の特徴

田中かなで¹⁾、馬場 千夏¹⁾、山脇 理恵¹⁾、西田野百合¹⁾、由利 拓真¹⁾、
堀川陽一郎¹⁾、峰晴 陽平^{2,3)}、山尾 幸広²⁾、池口 良輔^{1,4)}、
松田 秀一^{1,4)}、荒川 芳輝²⁾

- ¹⁾ 京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
²⁾ 京都大学大学院 医学研究科 脳神経外科学、
³⁾ 京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 健康医療 AI 講座、
⁴⁾ 京都大学大学院 医学研究科 整形外科学

S2-2 神経膠腫治療における健康関連 QoL(HRQoL) 研究

一患者の臨床的特徴や全身状態が術後1年の健康状態に与える影響について一

久ヶ澤一葉¹⁾、田中 将太¹⁾、柳澤 俊介²⁾、高柳 俊作¹⁾、高見 浩数¹⁾、
大野 誠²⁾、高橋 雅道²⁾、宮北 康二²⁾、成田 善孝²⁾、齋藤 延人¹⁾

- ¹⁾ 東京大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

S2-3 悪性神経膠腫患者の家族の体験と対処に関するインタビュー調査

佐藤 仁美^{1,2)}、成田 善孝²⁾、宮北 康二^{2,3)}

- ¹⁾ 帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科、
²⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科、³⁾ がん研究会有明病院

教育講演 1
「家族ケア」

10:55-11:15

座長：吉内 一浩（東京大学医学部附属病院 心療内科）

EL1 患者家族の抱える苦しみとそのケアについて

池田 真理

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野

シンポジウム 3

11:15-11:55

「脳腫瘍患者のリハビリテーション」

座長：辻 哲也（慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室）
山田 深（杏林大学 医学部 リハビリテーション医学教室）

S3-1 **基調講演**：脳腫瘍患者のリハビリテーション診療の現状とリハビリテーション WG の今後の展開

辻 哲也

慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室

S3-2 脳腫瘍支持療法としての回復期リハビリテーションの役割

出口 誠^{1,2)}、松谷 雅生¹⁾、坂本 裕彦¹⁾、喜多村孝幸¹⁾、佐藤 章¹⁾、
伊藤 正一¹⁾、手嶋 沢音²⁾、植山 真衣²⁾、高尾 祐揮²⁾、黒木 紘子³⁾、
西田 明子⁴⁾

¹⁾ 五反田リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科、²⁾ 五反田リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、³⁾ 五反田リハビリテーション病院 看護部 医療関係室、⁴⁾ 五反田リハビリテーション病院 栄養科

S3-3 悪性神経膠腫患者に対しご本人が望む生活復帰を目標とした当院作業療法の
実践報告

黒崎 空¹⁾、佐々木秀一¹⁾、田口 晴貴¹⁾、小原 由貴¹⁾、神保 武則¹⁾、
柴原 一陽²⁾、隈部 俊宏²⁾

¹⁾ 北里大学病院 リハビリテーション部、²⁾ 北里大学 医学部 脳神経外科学

ランチョンセミナー

12:05-13:05

「Advance Care Planning」

座長：橋本 直哉（京都府立医科大学 脳神経外科）
共催：小野薬品工業株式会社

LS-1 脳腫瘍患者の Advance Care Planning

－最期までその人らしく生きることを支えるために看護師ができること－

近田 藍

京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 先端基盤看護科学講座 看護倫理学分野

LS-2 脳腫瘍患者の終末期医療のあり方と ACP パンフレットについて

阿部 竜也

佐賀大学 医学部 脳神経外科

シンポジウム4

13:15-13:45

「就労支援」

座長：佐々木 光（東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科）
水野 勝広（東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学）

S4-1 脳腫瘍患者の治療と仕事の両立支援に関する介入：スコーピングレビュー

船津 康平¹⁾、樋口 周人^{2,3)}、原田有理沙^{4,5)}、高木絵里子⁶⁾、
立石清一郎^{4,7)}、佐伯 覚³⁾

¹⁾ 産業医科大学病院 リハビリテーション部、

²⁾ (株) SENSTYLE エイジングサイエンスラボ、

³⁾ 産業医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座、

⁴⁾ 産業医科大学 医学部 両立支援科学、⁵⁾ 産業医科大学病院 両立支援科、

⁶⁾ コニカミノルタ株式会社、⁷⁾ 産業医科大学産業生態科学研究所

S4-2 脳腫瘍患者の就労支援に関する取り組みについて

佐々木 光

東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科

S4-3 脳腫瘍患者の就労支援における現状と課題

－リハビリテーション科医の立場から－

水野 勝広

東海大学 医学部 専門診療学系 リハビリテーション科学

シンポジウム5

13:45-14:35

「支持療法・緩和ケア」

座長：溝脇 尚志（京都大学 放射線治療科）
 櫻田 香（山形大学 医学部 看護学科 基礎看護学講座）

S5-1 悪性脳腫瘍患者の緩和ケア：グリオーマホスピスの提案

副田 明男、辻 若子、伊東奈保美、斉藤 裕樹、玉村 笑子、可児 朋香、
 大野 香、高見 洸輝、川合由紀子、今尾 智恵
 東海中央病院

S5-2 脳疾患患者に対する社会生活復帰から ACP 対象介助生活レベルまでの outcome stage の提案

高尾 祐輝¹⁾、手嶋 沢音¹⁾、植山 真衣¹⁾、谷口 稜¹⁾、石塚 直美²⁾、
 寺園 茜²⁾、坂本 裕彦³⁾、伊藤 正一³⁾、佐藤 章³⁾、出口 誠³⁾、
 松谷 雅生⁴⁾

¹⁾ 五反田リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、

²⁾ 五反田リハビリテーション病院 看護部、

³⁾ 五反田リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科、

⁴⁾ 原宿リハビリテーション科 診療部 リハビリテーション科

S5-3 高 MGMT プロモーターメチル化膠芽腫再発後の緩和支援療法の予後

安達 淳一^{1,2)}、白畑 充章²⁾、鈴木 智成²⁾、三島 一彦²⁾、古峰 弘之¹⁾、
 西川 亮²⁾

¹⁾ JR 東京総合病院 脳神経外科、²⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科

S5-4 悪性脳腫瘍患者のポリファーマシー適正化の試み

伊東奈保美、辻 若子、可児 朋香、玉村 笑子、斉藤 裕樹、高見 洸輝、
 川合由紀子、大野 香、今尾 智恵、副田 明男
 東海中央病院

S5-5 膠芽腫患者での血糖値が予後に及ぼす影響とケトン食療法の効果

篠山 隆司^{1,2)}、田中 一寛¹⁾、長嶋 宏明¹⁾、前山 昌博¹⁾、岩橋 洋文¹⁾、
 山西 俊介¹⁾、西原 賢在²⁾

¹⁾ 神戸大学 医学部 脳神経外科、²⁾ 西神戸医療センター 脳神経外科

教育講演2

14:35-14:55

「夜間頻尿」

座長：齋藤 紀彦（東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科）

EL2 大脳病変に起因する神経因性下部尿路機能障害の診療のポイント

関戸 哲利
 東邦大学医療センター大橋病院 泌尿器科

特別講演

14:55-15:15

「在宅緩和ケア」

座長：天谷 文昌（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室）

SL 脳神経外科医の視線で診た地域緩和ケア

渡辺 邦彦
在宅ほすびす

シンポジウム6

15:15-15:45

「終末期医療」

座長：阿部 竜也（佐賀大学 医学部 脳神経外科）
副田 明男（東海中央病院 脳神経外科）

S6-1 膠芽腫終末期医療における、予後告知とベバシズマブの影響

松谷 智郎、廣野誠一郎、小林 正芳、岩立 康男
千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科

S6-2 膠芽腫患者のターミナルステージにおけるベバシズマブの役割と医療環境の調整について

田中 俊英^{1,2)}、勅使川原明彦²⁾、東本 杏一²⁾、武井 淳³⁾、山本 洋平⁴⁾、
大崎 水緒⁵⁾、小林 可奈⁵⁾、西山 紗織⁵⁾、小山 淳美⁵⁾、佐藤 毅⁵⁾、
長谷川 譲²⁾、赤崎 安晴¹⁾、村山 雄一¹⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学 脳神経外科、²⁾東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経外科、

³⁾東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター 脳神経外科、

⁴⁾東京慈恵会医科大学附属第三病院 脳神経外科、

⁵⁾東京慈恵会医科大学附属柏病院 医療相談部

S6-3 神経膠芽腫の終末期医療の実際 ―コロナ禍での変化

大村 朋子、宮北 康二、大野 誠、高橋 雅道、柳澤 俊介、成田 善孝
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

スポンサードセミナー

15:45-16:20

「交流電場療法」

座長：園田 順彦（山形大学 医学部 脳神経外科）
共催：ノボキユア株式会社

SS-1 **基調講演**：TT フィールド療法の現状と使用経験

沖田 典子、貴島 晴彦
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科

SS-2 交流電場腫瘍治療システム (NovoTTF-100A) 治療におけるアドヒアランス向上の工夫

黒住 和彦¹⁾、小泉慎一郎¹⁾、藤井謙太郎²⁾

¹⁾ 浜松医科大学 脳神経外科、²⁾ 岡山大学大学院 脳神経外科

SS-3 当院における悪性神経膠腫における集学的治療と在宅電場療法のスムーズな導入のための、地域医療連携の実際

西山 淳¹⁾、榊原夢太郎¹⁾、反町 隆俊¹⁾

¹⁾ 東海大学 医学部 外科学系脳神経外科学領域、

²⁾ 東海大学医学部附属病院 看護部

ポスター1

16:20-16:55

「ニーズとサポート1」

座長：宮北 康二（がん研究会有明病院 脳腫瘍外科）

P1-1 岡山ろうさい病院グリオーマサポートセンターの取り組み（第2報）：
膠芽腫長期生存症例のニーズとサポート

足立 吉陽^{1,2)}、富田 陽介¹⁾、為佐 信雄¹⁾、片山 伸二¹⁾、伊達 勲¹⁾

¹⁾ 岡山ろうさい病院 脳神経外科・脳卒中科、²⁾ グリオーマサポートセンター

P1-2 グリオーマホスピス利用対象者へのアンケートからみる悪性脳腫瘍介護者のニーズの検討

玉村 笑子、可見 朋香、辻 若子、伊東奈保子、斉藤 裕樹、大野 香、

高見 洸輝、川合由紀子、今尾 智恵、副田 明男

東海中央病院

P1-3 Diffuse midline glioma 長期生存患者への治療とサポートについて

近 貴志、小林 裕介、佐藤 洋輔、清水 克悦、水谷 徹

昭和大学 脳神経外科

P1-4 膠芽腫の複合的治療化による地域医療格差への対応

粕井 泰朋、秦 暢宏、藤木 稔

大分大学医学部附属病院 脳神経外科

ポスター2

16:20-16:55

「Advance Care Planning」

座長：近田 藍（京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻
先端基盤看護科学講座 看護倫理学分野）

P2-1 膠芽腫患者の ACP における看護支援の一考察

金井 香子、宇根底亜希子

JA 愛知厚生連江南厚生病院

P2-2 悪性神経膠腫患者に対する患者の価値観を尊重した支援

山本由利子¹⁾、田村 亮太²⁾、富樫 智子¹⁾、今井三千代¹⁾、中村真由美¹⁾、
中村 映子¹⁾、富岡 久子¹⁾、戸田 正博²⁾、上田留美子¹⁾、佐々木 光³⁾
¹⁾ 慶應義塾大学病院 看護部、²⁾ 慶應義塾大学病院 脳神経外科、
³⁾ 東京歯科大学市川総合病院 脳神経外科

P2-3 回復期リハビリテーション病院における悪性脳腫瘍患者への ACP 実践例の報告

黒木 紘子¹⁾、松谷 雅生²⁾、坂本 裕彦³⁾、出口 誠³⁾、佐藤 章³⁾、
伊藤 正一³⁾、手嶋 沢音⁴⁾、高尾 祐輝⁴⁾、谷口 稜⁴⁾、松澤 寛子¹⁾、
石塚 直美⁵⁾
¹⁾ 五反田リハビリテーション病院 看護部 医療連携室、
²⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科、
³⁾ 五反田リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科、
⁴⁾ 五反田リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、
⁵⁾ 五反田リハビリテーション病院 看護部

P2-4 脳悪性リンパ腫患者の終末期療養における家族への意思決定支援の一症例

高津咲恵子
防衛医科大学校病院

ポスター3

16:20-16:55

「支持療法・緩和ケア1」

座長：菱井 誠人（順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科）

P3-1 開頭手術終了時にシャンプー洗髪を行うことによる看護業務改善の取り組み

角井 祐香^{1,2)}、生方あかり¹⁾、八木菜つみ¹⁾、土屋麻美子¹⁾、安達 淳一²⁾
¹⁾ JR 東京総合病院 看護部 手術室、²⁾ JR 東京総合病院 脳神経外科

P3-2 Novo-TTF 100A システムにて治療した膠芽腫患者への看護介入

元木 真紀¹⁾、松田憲一郎²⁾、園田 順彦²⁾、櫻田 香³⁾
¹⁾ 山形大学医学部附属病院 看護部、
²⁾ 山形大学 医学部 脳神経外科講座、
³⁾ 山形大学 医学部 看護学科基礎看護学講座

P3-3 在宅電場療法（オプチューン[®]）治療を受ける患者家族のケア力を高める看護

宮本 宏恵¹⁾、斉藤 愛¹⁾、外山ゆかり¹⁾、鈴木 有紀¹⁾、川俣 順子¹⁾、
安達 淳一²⁾
¹⁾ JR 東京総合病院 看護部（外来）、²⁾ JR 東京総合病院 脳神経外科

ポスター4

16:20-16:55

「リハビリテーション1」

座長：櫻井 卓郎（国立がん研究センター中央病院 リハビリテーション室）

P4-1 初期治療前後における膠芽腫患者の身体組成と身体機能の変化に関する調査報告眞鍋 朋誉¹⁾、三宅 啓介²⁾、大浦 敦樹¹⁾、松永 一真¹⁾、井窪 文耶¹⁾、
森田 伸¹⁾、加地 良雄¹⁾¹⁾ 香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部、²⁾ 香川大学 医学部 脳神経外科**P4-2** 脳腫瘍患者へのリハビリテーション評価（運動機能と認知機能）と KPS（Karnofsky Performance Status）の相関性植山 真衣¹⁾、手嶋 沢音¹⁾、高尾 祐輝¹⁾、谷口 稜¹⁾、石塚 直美³⁾、
寺園 茜³⁾、坂本 裕彦²⁾、伊藤 正一²⁾、佐藤 章²⁾、出口 誠²⁾、
松谷 雅生⁴⁾¹⁾ 五反田リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科、²⁾ 五反田リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科、³⁾ 五反田リハビリテーション病院 看護部、⁴⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科**P4-3** 脳腫瘍摘出術後患者の退院後生活における身体活動量の実態と、低身体活動に関連する要因の検討。大澤 竜司^{1,2)}、伊藤 駿²⁾、古橋 啓介²⁾、平野 滉²⁾、大野 智貴²⁾、
長峰 広平²⁾、小宅 一彰³⁾¹⁾ 神應透析クリニック、²⁾ 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、³⁾ 信州大学 医学部 保健学科理学療法学専攻**P4-4** 悪性脳腫瘍患者の終末期におけるリハビリテーションの現状と課題大野 香、高見 洸輝、川合由紀子、今尾 智恵、伊東奈保美、辻 若子、
齊藤 裕樹、玉村 笑子、副田 明男

東海中央病院

ポスター5

16:55-17:30

「支持療法・緩和ケア2」

座長：近 貴志（昭和大学 脳神経外科）

P5-1 脳腫瘍患者における睡眠障害

菱井 誠人、三橋 立、徳川 城治

順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科

P5-2 脳腫瘍術後患者における疲労と IADL の関係

平野 滉¹⁾、古橋 啓介¹⁾、関 みなみ¹⁾、伊藤 駿¹⁾、大野 智貴¹⁾、
大澤 竜司²⁾、佐賀里 昭³⁾、井戸 芳和¹⁾、堀内 博志¹⁾
¹⁾ 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、²⁾ 神應透析クリニック、
³⁾ 信州大学 医学部 保健学科作業療法学専攻

P5-3 回復期リハビリテーション病院における脳腫瘍患者の栄養状態、及び、管理栄養士の関わり

西田 明子¹⁾、出口 誠²⁾、松谷 雅生³⁾
¹⁾ 五反田リハビリテーション病院 栄養科、
²⁾ 五反田リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科、
³⁾ 原宿リハビリテーション病院 診療部 リハビリテーション科

P5-4 悪性脳腫瘍に合併する脳卒中の臨床像と治療

田中 一寛、長嶋 宏明、山西 俊介、甲田 将章、藤田 敦史、篠山 隆司
神戸大学医学部附属病院 脳神経外科

ポスター6

16:55-17:30

「リハビリテーション2」

座長：出口 誠（医療法人社団 巨樹の会 五反田リハビリテーション病院）

P6-1 成功体験の蓄積を考慮した治療プログラムにより箸操作能力が向上した転移性脳腫瘍患者への作業療法経験

大浦 敦樹¹⁾、津川 亮介¹⁾、眞鍋 朋誉¹⁾、松永 一真¹⁾、森田 伸¹⁾、
鈴木 健太²⁾、三宅 啓介²⁾、加地 良雄¹⁾
¹⁾ 香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
²⁾ 香川大学 医学部 脳神経外科学

P6-2 スマートフォン使用により心理面に変化がみられた髄膜腫患者への言語療法経験—COVID-19 感染対策による面会制限下での家族との連絡手段獲得—

松永 一真¹⁾、角谷 英樹¹⁾、眞鍋 朋誉¹⁾、大浦 敦樹¹⁾、森田 伸¹⁾、
鈴木 健太²⁾、三宅 啓介²⁾、加地 良雄¹⁾
¹⁾ 香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部、
²⁾ 香川大学 医学部 脳神経外科学

P6-3 転移性脳腫瘍摘出後に重度片麻痺を呈したが、自宅退院に至った症例のリハ介入と QOL に関する一考察 -KPS と EQ-5D-5L を用いた介入評価-

林 雄李¹⁾、草葉 隆一¹⁾、海山 京子¹⁾、最所 雅¹⁾、緒方 慶衣¹⁾、
岡澤 和哉¹⁾、山田祐里奈¹⁾、岸崎 穂高³⁾、瀧川 浩介³⁾、高岸 創³⁾、
川口 謙一^{1,2)}
¹⁾ 九州大学病院 リハビリテーション部、²⁾ 九州大学病院 リハビリテーション科、
³⁾ 九州大学病院 脳神経外科

P6-4 髄芽腫 3 例の理学療法経験から考えられた課題

皆方 伸、畠山 和利、渡邊 基起、高橋 裕介、菊池 耀、坂本理々子、
長谷川 翔、粕川 雄司
秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部

ポスター7

16:55-17:30

「ニーズとサポート2」

座長：安達 淳一（JR 東京総合病院 脳神経外科）

P7-1 65歳未満のがん末期でない脳腫瘍患者における介護保険申請

田部井勇助

国際医療福祉大学三田病院 脳神経外科

P7-2 脳腫瘍患者・家族のニーズを引き出すための当院外来における取り組み西山 淳¹⁾、堂園 幸子²⁾、榊原夢太郎¹⁾、反町 隆俊¹⁾¹⁾ 東海大学 医学部 外科学系 脳神経外科学領域、²⁾ 東海大学医学部付属病院 看護部**P7-3** 悪性脳腫瘍患者とのコミュニケーションスキルを使用した関わりの分析

佐藤佑喜奈、河野 篤子、奥谷 美里

聖隷浜松病院

P7-4 中枢神経悪性リンパ腫に対する R-MPV（リツキシマブ、メトトレキサート、プロカルバジン、ビンクリスチン）療法の有用性と問題点長嶋 宏明¹⁾、田中 一寛¹⁾、山西 俊介¹⁾、伊藤 智雄²⁾、篠山 隆司¹⁾¹⁾ 神戸大学大学院 医学研究科 脳神経外科学、²⁾ 神戸大学大学院 医学研究科 病理診断学

ポスター8

16:55-17:30

「終末期医療」

座長：黒住 和彦（浜松医科大学 脳神経外科）

P8-1 脳幹部神経膠腫終末期の症状武内 勇人¹⁾、高橋 義信²⁾、山中 巧²⁾、天谷 文昌³⁾、橋本 直哉²⁾¹⁾ 明治国際医療大学 脳神経外科、²⁾ 京都府立医科大学 脳神経外科、³⁾ 京都府立医科大学 緩和医療科**P8-2** 髄膜癌腫症に伴う水頭症の症状緩和に長期間の腰椎ドレナージ管理が有効であった2例

五十川瑞穂、高橋 英明

県立がんセンター新潟病院

P8-3 神経膠腫終末期における患者家族の代理意思決定支援

斎藤 由香、赤羽 治美

信州大学医学部付属病院 東8階病棟

- P8-4** 終末期を迎えた悪性脳腫瘍患者に対する意思決定支援を振り返る
～高次脳機能障害を有する患者の意向を尊重した終末期療養における看護実践～
峯田 寿弘¹⁾、石井 園乃¹⁾、庄司 聡子¹⁾、工藤かおり¹⁾、白田 彩海¹⁾、
小笠原梨紗¹⁾、齋藤 弥生¹⁾、櫻田 香²⁾、設楽 祐美¹⁾
¹⁾ 山形大学医学部附属病院 看護部、²⁾ 山形大学 医学部 看護学科 基礎看護講座

ポスター9

17:30-18:05

「ニーズとサポート3」

座長：田中 俊英（東京慈恵会医科大学 脳神経外科）

- P9-1** グリオーマホスピスにおける悪性脳腫瘍患者の社会的支援
齊藤 裕樹、玉村 笑子、辻 若子、伊東奈保美、可見 朋香、大野 香、
高見 洸輝、川合由紀子、今尾 智恵、副田 明男
東海中央病院
- P9-2** 高次脳機能障害がある神経膠腫患者に対する就労支援
梅崎 成子¹⁾、藤原 清香¹⁾、荻野亜希子¹⁾、高見 浩数²⁾、田中 將太²⁾、
高柳 俊作²⁾、緒方 徹¹⁾
¹⁾ 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部・科、
²⁾ 東京大学医学部附属病院 脳神経外科
- P9-3** 介護施設との連携を密にすることにより治療を継続することができた悪性膠腫の1例
松久 卓¹⁾、小林 寛樹²⁾、谷川原徹哉²⁾、渡邊 正³⁾
¹⁾ 国立病院機構 長良医療センター、²⁾ 岐阜市民病院、³⁾ のぞみクリニック
- P9-4** 悪性神経膠腫の標準治療を受ける外国籍患者への看護的関わり
増井 雅¹⁾、渡邊 立佳¹⁾、二瓶 香織¹⁾、川崎 瑞歩¹⁾、伊藤 智子¹⁾、
安達 淳一²⁾
¹⁾ JR 東京総合病院 看護部 4F 病棟、²⁾ JR 東京総合病院 脳神経外科

ポスター 10

17:30-18:05

「リハビリテーション3」

座長：松谷 智郎（千葉大学大学院医学研究院 脳神経外科）

- P10-1** 前頭葉グリオーマにおける左右半球間での周術期、2か月後の機能変化とQOLの特徴
角田 明子¹⁾、齋藤 太一²⁾、新田 雅之²⁾、都築 俊介²⁾、郡山 峻一²⁾、
田村 学³⁾、村垣 善浩^{3,5)}、川俣 貴一²⁾、若林 秀隆^{1,4)}
¹⁾ 東京女子医科大学 リハビリテーション部、²⁾ 東京女子医科大学 脳神経外科、
³⁾ 東京女子医科大学 先端生命医学研究所、
⁴⁾ 東京女子医科大学 リハビリテーション科、
⁵⁾ 神戸大学 未来医工学研究開発センター

P10-2 多角的な視点より就労・離職防止支援を行い、元職に就労継続できている両側前頭葉悪性神経膠腫患者

田尻 寿子¹⁾、三矢 幸一²⁾、加藤るみ子¹⁾、田尻 和英¹⁾、鈴木 諒子¹⁾、
岩瀬 優花¹⁾、伏屋 洋志³⁾

¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション室、

²⁾ 静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科、

³⁾ 静岡県立静岡がんセンター リハビリテーション科

P10-3 神経膠腫患者に対する術後早期リハビリテーション

石田 幸平¹⁾、田代 祥一^{2,3)}、池田 光代¹⁾、小林 啓一⁴⁾、佐々木重嘉⁴⁾、
齊藤 邦昭⁴⁾、永根 基雄⁴⁾、山田 深²⁾

¹⁾ 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室、

²⁾ 杏林大学 医学部 リハビリテーション医学、

³⁾ 慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学、

⁴⁾ 杏林大学 医学部 脳神経外科学

P10-4 中枢神経系原発悪性リンパ腫により記憶障害を呈した症例に対する生活機能リハビリテーション

宮田 沙弥¹⁾、池田 光代¹⁾、小林 啓一²⁾、齊藤 邦昭²⁾、佐々木重嘉²⁾、
山岸 夢希²⁾、永根 基雄²⁾、山田 深³⁾

¹⁾ 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室、

²⁾ 杏林大学 医学部 脳神経外科学、

³⁾ 杏林大学 医学部 リハビリテーション医学教室

ポスター 11

17:30-18:05

「多職種カンファレンス」

座長：田部井勇助（国際医療福祉大学三田病院 脳神経外科）

P11-1 松果体原発卵黄囊腫瘍を発症し、高リスク化学療法を施行する患者に対して多職種で妊孕性温存について検討した症例

満屋 奨¹⁾、亀田 雅博³⁾、鶴岡健二郎¹⁾、高井 聡³⁾、香山 諒³⁾、
船本 智哉¹⁾、池田宗一郎¹⁾、今川 影久¹⁾、鰐淵 昌彦³⁾、藤阪 保仁²⁾

¹⁾ 大阪医科薬科大学 内科学 I 教室、²⁾ 大阪医科薬科大学 腫瘍内科学教室、

³⁾ 大阪医科薬科大学 脳神経外科学教室

P11-2 小児脳腫瘍患児の在宅療養調整における退院調整支援看護師の介入の実際

野村 有香^{1,2)}、平山 和枝¹⁾、白畑 充章²⁾、鈴木 智成²⁾、三島 一彦²⁾

¹⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 患者支援センター、

²⁾ 埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科

P11-3 自宅退院を希望する脳腫瘍患者の在宅支援

安食 奈南、石谷 朋紀、伊藤 綾香、新海 美恵
藤田医科大学病院 看護部

PII-4 脳腫瘍患者の支援に関する多職種カンファレンスのあり方の検討

高橋 慶香¹⁾、大山 綾香¹⁾、石毛奈津子¹⁾、上野 明子¹⁾、稲村 直子¹⁾、
坂本 朱音²⁾、櫻井 卓郎³⁾、渡辺 典子³⁾、高橋 雅道⁴⁾、成田 善孝⁴⁾

¹⁾ 国立がん研究センター中央病院 看護部、

²⁾ 国立がん研究センター中央病院 地域医療連携部、

³⁾ 国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科、

⁴⁾ 国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科

次期会長挨拶

18:20-18:25

辻 哲也（慶應義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室）

閉会の辞

18:25-18:30

成田 善孝（第1回脳腫瘍支持療法研究会 会長／
国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科）